

## 目標達成計画

作成日: 平成 31 年 3 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害についての対策、備蓄などできていない。避難訓練が定期的に行えておらず、いざという時に動けるかが問題。	災害時に備えて、備蓄をいち早く揃える。年二回の避難訓練の実施は継続し、いざという時に動けるように、定期的に訓練、シミュレーションして動けるようにする。	備蓄は缶詰め、水など、必要最低限の物でも早急に用意しておく。訓練については、職場会議などを利用して、短い期間で定期的にシミュレーションしていく。	6ヶ月
2	10	チームで作る介護計画とあるが、事前の家族様からのアンケートで話し合いがなかったとの回答があった。	認知症があっても、住みやすく、家族の方へも日々の様子が見えるような情報の提供、家族の意見を聞いた、計画書の作成を行う。	面会に来られた時、電話などで、ご家族様の意見など詳しく聞き取り、計画書へ反映し、より良い計画書を作成していく。	6ヶ月
3	3	運営推進会議の参加人数が少ない。内容ももう少し具体的なほうが良い。	自治会など、施設以外の地域の方の参加を呼びかける。	現在、地域代表は1名であるが、法人内のグループホーム関係者や自治組合長などに声をかけ、地域密着型の施設として、より良いケアの提供や外へ離設したときの対応が速やかに出来るように、参加者増やせるよう、声をかけていく。	6ヶ月
4	12	重度化や終末期に向けた方針の作成ができていない。	指針を作成する。	指針の作成を行い、いつでも対応できるように職員の力量もつける。	6ヶ月
5	18	日常的な外出支援	外出の機会を多くもつ。	ちょっとした買い物、散歩など、外出のできる体制の確保、チェック表の作成。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。